

利根保健生協 2007年6月現勢	
生協組合員26,025世帯
出資金額1,150,994,000円
平均出資金額44,226円
理事27名 監事3名 総代205名 班長1340名 保健委員1723名 くらしの相談員126名 ホームヘルパー2級144名 3級40名 出資金一世帯平均で全国目標の 5万円達成をめざしましょう	

利根の保健

利根保健生活協同組合	
発行人	都築 靖 発行部数 22,000
編集	「利根の保健」編集委員会
	〒378-0053 沼田市東原新町1855番地の1 0278(22)4321 FAX(22)4393
事業所	利根中央病院 (22)4321 利根歯科診療所 (24)9418 老人保健施設とね (22)8855 とね訪問看護ステーション (23)3706
片品村鎌田	片品診療所 (58)3910
印刷	有限会社 コトブキ印刷

新病院建設一歩前進 設計は久米設計に決定

第7回新病院建設委員会がおよび理事会を経て、設計は株式会社久米設計に決定しました。

この間、新病院建設委員会では、設計会社選定は病院建設の根幹をなす重要な事項であるとの認識で、各社からの説明会や、各々が設計した病院見学などを行いました。

久米設計の創設者は、沼田にも縁の深い久米民之助氏の三子息久米権九郎氏で、職員5百数十人を有し、多くの実績を持つ業界でも大手の設計会社です。必ずや組合員の声に応えてもらえるものと期待します。

都築靖新病院建設委員長は、設計会社決定で新病院建設は大きく前進しました。今後、給食問題など解決する課題はありますが、組合員と役員が力を合わせ立派な病院を造りあげていきたいと思えます」と話していました。

2007国民平和大行進

核兵器のない世界を！ 「憲法九条を守れ」の声

「戦争や核のない平和な世界を」「憲法九条を守れ」を合言葉に、8月に広島・長崎で開かれる原水爆禁止世界大会に向けて、全国すべての市町村を歩いて結ぶ「国民平和大行進」がおこなわれました。

利根沼田でも延べ185人の参加で、7月8日、片品と川場、水上、新治の旧役場から沼田公園までの「網の目」行進、12日は沼田市役所から昭和村を経て渋川市までの「基幹コース」の行進をおこないました。

「網の目」行進では、片品ながら頑張って歩きつづけたコースを利根保健協と労組が担当しました。役場前での開会式では、村長、議長の激励のあいさつを受け、国民平和大行進の横断幕を先頭に、8時に27人で元気よく歩き始めました。さいわいす曇りで比較的歩きやすい天候でした。途中、利根町支所で小林喜市夫妻の湯茶の接待を受け、片品コースで去年同様一日歩き通した小学6年生の西島剛志君は「少し疲れたけど、行いながら慎重に検討してきました。」

久米設計の創設者は、沼田にも縁の深い久米民之助氏の三子息久米権九郎氏で、職員5百数十人を有し、多くの実績を持つ業界でも大手の設計会社です。必ずや組合員の声に応えてもらえるものと期待します。

都築靖新病院建設委員長は、設計会社決定で新病院建設は大きく前進しました。今後、給食問題など解決する課題はありますが、組合員と役員が力を合わせ立派な病院を造りあげていきたいと思えます」と話していました。



基幹コース参加者 昭和村で

8月の平和行事
憲法九条を「改正」し、戦争の出来る国への策動が強まり、平和を求める国民の願いを踏みにじる状況強まっています。これを阻止し、戦争の悲惨さや平和の大切さを訴える行事が開かれます。

争の出来る国への策動が強まり、平和を求める国民の願いを踏みにじる状況強まっています。これを阻止し、戦争の悲惨さや平和の大切さを訴える行事が開かれます。

第27回平和のための戦争展
8月10日(金) 12日(日)の三日間、グリーンヘル21 5階ギャラリーで
第24回平和美術展
8月13日(月) 15日(水)の三日間 沼田市中央公民館



利根沼田の結集地沼田公園に向け(片品・川場コース)



原田所長の指導で歯を削る

「子ども歯の保健教室」 飲み物に砂糖がいっぱい

「子ども歯の保健教室」が7月7日(土)、利根歯科診療所で開かれ、子どもや保護者25人、歯の保健委員6人、職員21人も参加し賑やかにおこなわれました。この催しに合わせ、歯の構造や役割、子ども達の一番興味を持つのは、今年も職員の手で削る体験で「削れた削れた」とうれしそうに話していました。子ども達は「楽しかったので来年も参加します」「来年は友達を誘って来たい」「普段飲んでいる飲み物に砂糖がいっぱい入っているのにビックリした」「染め出しで歯の周りが真っ赤になった時は驚いた」などの感想が話されていました。

子ども達の一番興味を持つのは、今年も職員の手で削る体験で「削れた削れた」とうれしそうに話していました。子ども達は「楽しかったので来年も参加します」「来年は友達を誘って来たい」「普段飲んでいる飲み物に砂糖がいっぱい入っているのにビックリした」「染め出しで歯の周りが真っ赤になった時は驚いた」などの感想が話されていました。

子ども達の一番興味を持つのは、今年も職員の手で削る体験で「削れた削れた」とうれしそうに話していました。子ども達は「楽しかったので来年も参加します」「来年は友達を誘って来たい」「普段飲んでいる飲み物に砂糖がいっぱい入っているのにビックリした」「染め出しで歯の周りが真っ赤になった時は驚いた」などの感想が話されていました。

子ども達の一番興味を持つのは、今年も職員の手で削る体験で「削れた削れた」とうれしそうに話していました。子ども達は「楽しかったので来年も参加します」「来年は友達を誘って来たい」「普段飲んでいる飲み物に砂糖がいっぱい入っているのにビックリした」「染め出しで歯の周りが真っ赤になった時は驚いた」などの感想が話されていました。

あぜ道
夏が来ると思い出す、はるか昔の尾瀬... 五十年近く前に、少年の私は尾瀬に向かうため初めて沼田の駅に降り立った。駅前から大変な急勾配をバスで上がった記憶がある。東電の青年の案内で入った尾瀬ヶ原では一面の美しいニッコウキスゲが迎えてくれた。霧が晴れつつある雲上のアヤマ平を巡ったときの感動は忘れられない。少年の心で天国はこんなところかなと思つた。医師になつて当院に赴任したとき、季節を変えて二、三度尾瀬のハイキングに出かけた。木道は人々の長蛇の列で、アヤマ平は荒れ果てて見る影もなかった。復旧の努力がされ回復しつつあると聞くが、以来三十年尾瀬に足を踏み入れていない。尾瀬の湿原とそれを抱く山々は世界的にも貴重な財産である。今のような観光地化した尾瀬にしてよいのだろうかと思う。二十年ほど前に家族でイエローストーンなどのアメリカ、カナダの国立公園を巡るの旅をしたことがある。自然保護のため国立公園に入るにはゲートで入園料を取られる。権限を持った多くのレンジャーが公園の管理に努めていた。アメリカがそれまでの無制限な森林伐採や家畜の放牧から、自然保護を第一に考えた国立公園法を作つたのは百三十年以上前である。自然保護の父、ジョン・ミューアの思想が支えている。今度の「尾瀬国立公園」指定を機に自然保護を真剣に考える必要があると思う。(書)

後期高齢者医療制度

えっ 本当!?

保険料・年金から「天引き」

来年4月から75才以上全員が強制加入する「後期高齢者医療制度」が始まります。この保険料は、一人あたり平均で月額6200円(年間7万4千円)です(試算)。年金を月1万5千円以上受けている人は、一方的に年金から「天引き」されます。(下の表参照)

75才以上の人が全てが対象

いま75才以上の人は、国民健康保険や組合健保、政府管掌健保に加入し、老人保健制度からの医療給付を受けています。それを廃止し、75才以上の「後期高齢者」だけを対象にした新しい医療保険制度に移行させようと言うものです。全国1300万人(群馬21万人)

保険料滞納でペナルティー

年金額が少なく天引きできない人で保険料が払えない場合、保険証が取り上げ

中越沖地震でDMAT活動

7月16日、震度6強の中越沖地震が新潟県柏崎市を中心に襲いました。この災害に対して「DMAT(災害医療支援チーム)」という医療チームが派遣・活動を行いました。「DMAT」とは、災害時に被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を目的として、厚生労働省の認めた専門的な訓練を受けた医療チームで、その活動は災害発生から48時間以内とされています。当院の「DMAT」チームは地震当日の19時に柏崎市の刈羽郡総合病院に到着、18日10時まで現地において救急外来診療を行いました。災害は混乱であり、医療機関も例外ではありません。しかし医療



派遣された支援チームの4人

から、資格証明書が発行されます。この証明書では受診したときに窓口では10割の負担をしなければなりません。これまで「資格証明書」は75才以上の高齢者に対する発行は除外されていましたが「公平性の確保」という理由で改悪されてしまいました。こうしたことが受診を控えることにつながり、高齢者のうちと健康に重大な影響をもたらすことが懸念されています。重症化がすすむばますます医療費が増大するという悪循環への道です。医療費の本人負担は二割(現役並所得者は三割)で、いまの老人医療制度と同じです。

保険料の見直し

この制度では、公費五割、各健康保険の支援金四割、後期高齢者の保険料一割となっています。

市町村国保と違い、広域連合が運営主体のため、赤字に

保険料は、本人の所得に一定の料率(厚生労働省は約7%と想定)をかける「所得割(応能割)」と「均等割(応益割)」を合計して個人の負担額を算出するとしています。

年金収入別の後期高齢者医療保険料(全国平均:年額)

Table with columns for Annual Income (年金収入) and Insurance Premium (保険料). Rows include Income brackets (e.g., ~120万円, 160万円), Income Tax (所得割額 A), Equalized Premium (均等割額 B), and Total Premium (保険料総額 A+B).

厚生労働省の試算から作成。所得割の料率は7~8%と仮定

運営は広域連合

運営は各都道府県に設立される後期高齢者医療広域連合があたり、保険料や条例を決定します。群馬県の場合は、会長が松浦高崎市長、議員は19人、利根沼田地域からは

責任の重さ 実感

役員研修会開催



事8人の役員研修会が二回にわたり行われました。講師には都築理事長を始め各常勤役員があたり、第一回は「生協のあゆみ」「生協法」定款「生協の組織」について、第二回は「生協会計基準」「経営資料の見方」「医療保険制度」などについて学習をされました。参加された理事さんからは、「研修会に参加したら理事として自覚が生まれた。利根沼田地域にはなくてはならない病院なのでさらに発展するよう力を尽くしたい」「自分の置かれた立場を考えると責任の重さを感じた」と緊張し抱負を語っていました。

見直し求め署名と懇談

この制度は、昨年の6月、政府与党が強行した医療の改革によるものです。群馬県社会保険推進協議会では、高齢者の生活実態に即した保険料に「保険料の減免制度を」「高齢者の意見を反映出来る制度に」などの要請をかねて署名にとりくんでいます。班会でも、この制度についての学習をしてみました。

また、後期高齢者医療制度と国民健康保険の問題を中心にして、8月初旬に県内の全自治体との懇談会を予定しています。ぜひご協力下さい。

昼食 バイキング 老健施設とね

6月20日、「老健とね」で昼食バイキングが開かれました。メニューは、ちらし寿司、うどん、茶そば、きすのマリネ、スパゲティサラダ、マリアーナ、果物など10品です。



ようこそ新しい仲間

6月の新加入者は名義変更を含めて26人でした(敬称略)

増資者一覧 6月分

- List of names and amounts for new members and contributors in June, organized by branch (e.g., 沼田東支部, 沼田西支部, etc.).

席の並びも変え、普段とは違う雰囲気を利用者の皆さんは、ご馳走にワクワクしており、「何かから食べよう」と目を輝かせながらお皿に手を伸ばしていました。隣の人にも取り分けてくれる人、「欲張って食べすぎちゃった」「スイカは初物だ」など会話も弾み、楽しみながらの昼食会でした。

Advertisement for a cancer lecture at the Regional Cancer Treatment Point Hospital. Title: 「がん」と健康」のお知らせ. Date: August 18, 2007. Location: Lecture Hall 1, Rikyo Central Hospital.

6月班会開催一覧

Table with columns: 支部名, 班名, 班長名, 人数, 班会内容. Lists various classes and their details across different branches.



各地でまちかど健康チェック 生協では「住民一人ひとりが健康づくりに関心を」と組合員主体で健康チェック。昭和東・南支部は隔月で「昭和の湯」に於いて健康チェックを展開中



昨年からふれあいバザールで実施 役員隣の花の谷公園(片品)



薄根 硯田・白岩合同班(メタボリックシンドローム) Q & A方式の学習会。「内臓脂肪の怖さがわかりましたか?」と外科の郡Drが聞くと皆さん元気よく「はい」と挙手。楽しそうな勉強会ですね



水上 阿能川合同班(歯の話) 正しい歯磨き方法をビデオを見て研究。自費の入れ歯と「保険の入れ歯」の模型を見たり触ったりしながら違いを体験しました。

おらがまちの 班会あれこれ



昭和南 「利根の保健」配布者交流会 各健康チェックの後、外科の安藤Drと「座談会」絶えず質問がでていい交流会でした。聞きたいことを「うまく医者に聞くコツ」の話も良かったです。



池田 中発知合同班(大腸がんチェック) 大勢集まったので血圧を測るのもひと苦労。賑やかながらも大腸がんの話しがはじまると皆真剣でした。殆どの方が陰性反応で良かったですね。



川田 田中班(セラバンド体操) 「肩周りの筋肉を意識して!」これであなは肩こり知らず

昭和15年1月10日、現役兵で千葉習志野騎兵第15連隊に入營し、厳しい初年兵教育を受けた。太平洋戦争開戦直前の11月、軍司令部の宣伝班要員になった。ほどなく夏服が支給されたので、南方行きかなと皆で話し合った。昭和17年1月、その夏服を着て大阪港から台湾へ向け出港した。船が静かに岸壁を離れた時、「これが日本の見納めか」と悲壮な気持ちだった。台湾で輸送船団を組み、海軍に護衛されて南方に向かった。2月末に目的地のジャワ島バタビヤ沖に停泊した。その夜、海と空から敵軍の激しい攻撃を受けた。照明弾が付近を昏闇のように明るくし、軍艦の大砲が吼えて爆弾が炸裂する。高角砲・高射砲がうなり、曳光弾が飛び交い激しく撃ち合った。私の船も被弾しマストが飛び散った。周囲に次々と大きな水柱があがった。ついに魚雷が命中し、物凄い轟音と振動で船が傾きだした。慌てて甲板に駆け上ると、そこには倒れた鉄塔の下敷きになったり、ワイヤーで体が引き裂かれた無惨な戦友の姿が多数あった。私は沈みかけた船から海に飛び込み、油だらけの海を無我夢中で泳いだ。気が付いたら別の船に救助されていて、まさに九死に一生を得たのだ。

18年2月にビルマ(ミャンマー)の前線に補給物資を運ぶ兵站警備隊に編入された。マレー半島を北上して、タイとビルマを結ぶ泰緬鉄道建設にイギリス兵捕虜たちと一緒に働いた。その時、イギリス

将校が「我々は日本のためにこの鉄道工事をしているので、はい。いずれ日本は敗れ、この鉄道は我が国のものになると確信している」と言った。その信念が彼らの支えになっていくのだと思った。昭和19年になってビルマ進攻が始まったが、やがて制空権を連合軍に握られ、雨の降らない日はあっても爆弾の降らない日はないと言われたほど日本軍は劣勢で最悪の事態を迎えていた。輸送路を

戦争体験記 「全員幽霊の移動 落伍兵が続出」 みなかみ町相模 林 信一(87歳)

寸断されたため、弾薬・食糧・医薬などの補給物資は届かず、兵は栄養失調になり病人が続出した。雨季に入り休戦状態となったが、皮肉にも健康を維持できず病死者が急増し、これでは「明日は我が身だな」と覚悟を決めた。そんな時、突然後方への転属命令を受けた。降りしきる雨の中を敵の爆撃を避けるため、昼は動かす夜間に黙々と移動した。同行の従軍看護婦は女とわからぬよう丸坊主に

医療相談室

がん検診を受けましょう

がんは死因のトップ



利根中央病院 副院長 長坂 一三

昨年8月、利根中央病院は厚生労働省から「がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。がん

3人に1人は がんで死亡

がんは、私たちの日常生活の最大の脅威と言っても過言

のうち2人に1人の割合でがんにかかるといわれ、死亡者数全体の約3人に1人ががん

早期発見で 負担の少ない 治療が可能

医学が進歩した今日でも、がんの確実な治療は、症状の出ないほど小さな段階で見つ

かりやすい「がんは？」 現在、私たちはどんなながんにかかりやすいのでしょうか？

せせ「魅力のある班会に」



沼田市恩田町 穂苅勝代さん

利根中央病院に37年間、看護師として勤めていた穂苅さんは「経験を活かして、生協活動に協力を」と声がかかり、薄根支部の総代を引き受けて4年目になります。



「参加すれば何かしらタメになる」と組合員さんから好評の恩田の合同班会は、頼り

「多くの人に参加してもらえよう、魅力のある班会にして、永く続けていきたい」毎日15分のタンヘル体操を欠かさない穂苅さんは「班会を通じて『自分の健康は自分でつくる』という意識をもってもらえたらいいですね」と話しています。

自治体検診自己負担金額・実施期間表(平成19年度)

Table with columns for municipality (沼田市, みなかみ町, 昭和村, 片品村, 川場村), cancer type (肺がん, 胃がん, etc.), age group, and cost. It details the self-payment amounts and implementation periods for various cancer screening programs across different municipalities.

※対象者で各自自治体の定めた期間のみ上記の金額になります。 ※川場村は地区ごとに検診実施期間を決めて行っています。 ※みなかみ町の70歳以上はすべて無料になります。 ※片品村はすべてのがん検診を4月の指定日5日間に行っています。

今月の料理 マグロのネバネバ丼

ネバネバ食材で疲れた胃腸をひと休み。

- 材料(2人分) マグロの刺身...6切 長いも...100g おくら...6本 めかぶ...50g なめこ...50g たれ(醤油...大1、みりん...大1/2、酒...大1/2) 温泉卵...2個 ご飯...適量

作り方 長いもは皮をむいて1cmに切り、庖丁でたたく。おくらはがくをとり、ゆでて2mmの輪切りにする。なめこは湯通しする。マグロは、1cmの一口大に切る。ポウルに、とめかぶを入れ、たれを加えて和える。丼にご飯を盛り、和えたものをかけ、温泉卵をのせる。(栄養課 斎木理恵)

7割のがん検診 受診率で がん死亡率6%減

最近話題の生活習慣病との関連では、肥満や糖尿病は胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がん、すい臓がん、前立腺がんなどの発症を高めること

がん死亡率6%減

残念ながらがん検診を受けようとする人は10〜20%台と少ないのが現状です。アメリカやヨーロッパなどは、7割以上の人が乳がん検診(乳房X線検査)を受けようになっています。

がん対策推進協議会の推計では70%のがん検診受診率になると、がん死亡率が6%減少すると計算されています(ちなみに、喫煙率が現在の四分の一に減少するとがん死亡率3%弱の減少と推計)。基本健康診査(沼田市のおおは健診など自治体が行う健康診断)並みの7割以上の人ががん検診を受けることで、がんが亡くなる方を確実に減らすことができます。上記の表を参考に、基本健康診査を受ける際には、ぜひ、がん検診もお受けください。

なかまの 作品

俳句



- 地下足袋を脱いで安堵の月涼し 昭和村野瀬 横坂 成庄
何はとも話はじめの汗を拭く 沼田町岡谷町 金子 千春
夏来たる孫の宿題戦争調べ みなかみ町藤原 吉野 仍次
祭り果てもとの淋しさ戻る路地 沼田市西倉内町 戸丸 泰二郎
筵座の家庭崩壊 大夕立 沼田町上野町 峰川 幸江
滝しぶき陽の移ろいや虹生る 昭和村藤原 金井 糸子
登り咲く花を残して萎枯る 沼田町木町 八木 利夫
紫陽花や連れ添う人に歩を合わせ みなかみ町藤原 林 美佐子
つなく手に汗して夜のミステリ 沼田市栄町 貝 瀬 久代
湯上りのゆかた姿の粋な人 沼田町上野町 峰川 むつ
ねじり花鉢に住ませて早三年つからも増えてピ みなかみ町川上 木村 妙子
ンク色良き
父の日に子等が送りし贈り物も解く時の心お 利根町柿平 中澤 幹治
どらせ
「先生」と呼ばれ〇君と語り合ふ四十年前の教 みなかみ町下津 原 沢 貞子
へ子の会
お袋は百歳親父はその前と言つ子もをりて米寿 沼田市戸鹿野町 吉江 与一
の宴
県庁の夜景眺めて食事する無事に退職息子祝い みなかみ町月夜野 久野 フク江
て
張りつめし乳首に息もつかず飲む幼の瞳母を見 沼田市自派町 飯田 清子
つめて
太陽に向って今日もがんばろうと両手あげれば みなかみ町上組 杉木 八重子
爽やかな風
風もなく静かな夜更け消防のサイレン激し町を 沼田市高橋町 森田 妙子
過ぎゆく